

23 ('06 北海道大)

【難易度】… 難

(1) 整数 m, n に対して, 積分 $I_{m,n} = \int_0^{2\pi} \cos mx \cos nx \, dx$ を求めよ.(2) 自然数 n に対して, 積分 $J_n = \int_0^{2\pi} \left(\sum_{k=1}^n \sqrt{k} \cos kx \right)^2 dx$ を求めよ.

【テーマ】: 定積分

方針

(1) は m, n の値が等しいか 0 かで場合分けが必要になります。(2) は (1) の結果を利用して式を簡単にしましょう.

解答

(1)

(i) $m = \pm n \neq 0$ のとき,

$$\begin{aligned} I_{m,n} &= \int_0^{2\pi} \cos^2 mx \, dx \\ &= \int_0^{2\pi} \frac{1 + \cos 2mx}{2} \, dx \\ &= \frac{1}{2} \left[x + \frac{1}{2m} \sin 2mx \right]_0^{2\pi} \\ &= \frac{1}{2} \cdot 2\pi = \pi \end{aligned}$$

(ii) $m \neq \pm n$ のとき,

$$\begin{aligned} I_{m,n} &= \int_0^{2\pi} \frac{1}{2} \{ \cos(m+n)x + \cos(m-n)x \} \, dx \\ &= \frac{1}{2} \left[\frac{1}{m+n} \sin(m+n)x + \frac{1}{m-n} \sin(m-n)x \right]_0^{2\pi} \\ &= 0 \end{aligned}$$

(iii) $m = n = 0$ のとき,

$$\begin{aligned} I_{m,n} &= \int_0^{2\pi} dx \\ &= 2\pi \end{aligned}$$

以上より, 求める定積分の値は,

$$I_{m,n} = \begin{cases} \pi & (m = \pm n \neq 0) \\ 0 & (m \neq \pm n) \\ 2\pi & (m = n = 0) \end{cases} \quad \dots\dots(\text{答})$$

(2) (1), (ii) の結果を用いると,

$$\begin{aligned} J_n &= \int_0^{2\pi} (\cos x + \sqrt{2} \cos 2x + \sqrt{3} \cos 3x + \dots + \sqrt{n} \cos nx)^2 \, dx \\ &= \int_0^{2\pi} (\cos^2 x + 2 \cos^2 2x + 3 \cos^2 3x + \dots + n \cos^2 nx) \, dx \end{aligned}$$

と変形できる. ここで, (1), (i) の結果より, $\int_0^{2\pi} \cos^2 mx \, dx = \pi$ であるから,

$$J_n = \pi + 2\pi + 3\pi + \cdots + n\pi = \frac{n(n+1)}{2}\pi \cdots \cdots (\text{答})$$

である。



解説

(1) は m, n の値が 0 かどうか, また等しいかどうかなど様々な場合分けが必要なので, 注意が必要です。

(2) は, 経験がなければ難しいかもしれませんが, (1) がヒントになっていることには気付きたいものです。被積分関数をまともに計算すると大変ですから, (1), (ii) が威力を發揮します。 $\cos mx \cos nx$ で $m \neq n$ であれば定積分の値が 0 になるというものなので, $(\cos x + \sqrt{2}\cos 2x + \sqrt{3}\cos 3x \cdots + \sqrt{n}\cos nx)^2$ を展開したとき, 残ってくるのは 2 乗の項だけであるということに気がきましょう。